

第48回全国高等学校選抜卓球選手権大会中国地区予選会

女子学校対抗出場 令和2年12月18日～20日 ジップアリーナ

出場選手 高田 留々華・高杉 心菜・横田 あい・室田 漣

学校対抗予選リーグ【女子】

	A	B	C	D	E	F	G	H
①	萩光塩学院 (山口)	進徳女子 (広島)	明誠 (島根)	就実 (岡山)	鳥取敬愛 (鳥取)	早鞆 (山口)	松徳学院 (島根)	山陽学園 (岡山)
②	浜田 (島根)	鳥取湖陵 (鳥取)	柳井商工 (山口)	近大福山 (広島)	松江商業 (島根)	鳥取西 (鳥取)	倉吉北 (鳥取)	広島商業 (広島)
③	岡山商大附 (岡山)	徳山 (山口)	総社南 (岡山)	萩商工 (山口)	総社 (岡山)	岡山東商業 (岡山)	祇園北 (広島)	岩国商業 (山口)

通常の年は、開会式当日に抽選会が行われますが、コロナウィルスの影響で今年は事前に組合せ抽選が行われており、Cリーグの③に入りました。明誠高校は島根県1位で全国大会でも上位の学校で、女子は過去3回の出場でなんと全て明誠高校のリーグに入っています。柳井商工は、山口県4位の学校で男女共に中国大会出場の伝統校です。当日の練習を見ても、どの選手も上手で苦戦が予想されました。

まずは、予選リーグの1試合目の柳井商工と対戦しました。対戦相手の選手の個人名はプライバシーの観点から控えておきます。結果は以下のようになりました。

総社南	1	3	柳井商工
1 横田 あい	0	8-11 9-11 8-11	3 右シェーク フォア裏バック表
2 室田 漣	3	11-13 12-10 13-11 6-11 11-4	2 右シェーク カットマン
3 高杉 心菜	2	11-8 11-6 10-12 3-11 9-11	3 右シェーク カットマン
4 高田 留々華	2	11-6 3-11 9-11 11-9 5-11	3 右シェーク フォア裏バック表
5 高杉 心菜		9-11	2番の選手

対戦前の練習を見る限りでは、相手の方が実力は上だと感じました。中国大会初戦でもありお互いかなり緊張した状態だったこともあり、どの試合も接戦になりました。中国大会に出場する女子の選手は、正統派ならかなりの実力者か、異質のやりにくい選手しかいません。このチームもカットマン2人とバック表の異質型選手のチームでした。

1番の選手は、横田さんと似たタイプでバックの変化からフォアのスマッシュを打つ選手でした。どちらも序盤はミスが多く接戦のまま進みましたがどのゲームも後半に先にミスがあり負けました。ただし、フォアのスマッシュが決まった時は、ほぼ得点になっていたのでどれだけ自分が攻撃できる展開をつくっていけるかが今後の課題です。

2番のカットマンの選手のツッツキの変化も多く、室田さんもミスが多かったのですが、持ち前のサーブ力とスマッシュが効果的で接戦をものにして、見事中国大会の初戦で勝利をあげました。

3番のカットマンの選手は粘り強い選手で前半は高杉さんのサーブが返せず有利に進んでいましたが、中盤以降はミスが減り苦戦しました。5ゲーム目は、前半リードされてはいましたが後半は粘り強く点数を重ねて9-9（ナインオール）になりました。ここでラリー中にネットインのボールが入り相手は高く返球するだけのチャンスボールがきましたが、高杉さんも急にきたチャンスボールでオーバーミスしてしまい、粘り負けしてしまいました。これからの課題はカットうちの時に強打で早い展開で勝負を決めることだと思いました。

4番の選手も高田さんと似たような選手でお互いに自分が攻めるというよりは、相手にミスさせるタイプの選手同士でした。バック表の特性を生かした方が点数を入れる展開が多く。自分の同じ戦型の選手に勝つためには、戦術が重要となってきます。負けているゲームは連続失点が多く、気持ちの面で弱さがでていました。技術や戦術も重要ですが、いかに平常心で最後までできるか、難しいことですがここが勝負の分かれ目です。

女子にはカットマンやイボ高がないので、男子が練習相手をしてくれたおかげで良い試合ができました。やはり、こうした場面で男子も含めたチームの総合力が大きいと感じました。男子も嫌がらず練習してくれて助かります。最終的に柳井商工はエキシビジョンマッチで4位となったので、やはり力はあるチームだと思います。そのチームとここまでできたので総社南も力をつけていると感じる試合でした。

予選リーグの2試合目は、島根県1位の明誠高校です。正直、厳しい相手ですが昨年も対戦しておりどの程度できるか興味のある試合でした。結果は以下の通りです。

総社南	0		3	明誠
1 横田 あい	0	6-11 6-11 2-11	3	右シェーク 裏裏
2 室田 滯	1	9-11 11-8 4-11 2-11	3	右シェーク 裏裏
3 高杉 心菜	0	3-11 3-11 3-11	3	右シェーク 裏裏
4 高田 留々華		?-11 ?-11		右シェーク 裏裏
5 高杉 心菜				

さすがに、全国強豪チームでどの選手もレベルが高かったです。昨年も感じましたが明誠の選手は女子としては珍しいドライブを中心に攻める選手が多く非常に高いレベルで安定しています。こちらが凡ミスをしてしまうと点数がまったく入らないくらいでした。その中で2番の室田さんは、2ゲームまでは互角の内容でラリーでも十分得点ができていました。さすがに3ゲームからは相手にミドルをつかれるなど崩されてしまいミスが多くなりましたが、明誠のレギュラーとここまで試合ができるのは正直驚きでした。3番の高杉さんは昨年度も対戦した選手だったようで、最初からこちらのサーブにもほぼ完璧に対応していました。早いロングサーブに対してもわざとゆっくり返球してタイミングを崩したり、甘いボールはすかさず攻撃するなど完敗でした。昨年の対戦を生かしているかはわかりませんが、同じ作戦が通用しないあたりはレベルの高さを痛感しました。

予選リーグで3位となり、2日目以降のエキシビジョンマッチに進みました。初戦は広島県3位の祇園北高校と対戦しました。祇園北高校には一昨年度練習試合をしていただき、顧問の中元先生とは顧問同士でも試合をしたことがある縁のあるチームです。お互いに中国大会に出場して対戦できて恩返しのできた感じでうれしかったです。結果は以下のようになりました。

総社南	1		3	祇園北
1 横田 あい	1	10-12 11-8 8-11 6-11	3	右ペン イボ高
2 高田 留々華	3	4-11 8-11 13-11 11-5 11-6	2	右ペン イボ高
3 室田 滢	2	14-16 9-11 11-5 11-8 11-13	3	右シェーク 裏裏
4 高杉 心菜	2	11-8 6-11 5-11 11-8 7-11	3	右シェークカット 裏イボ
5 室田 滢		7-11 10-12		右シェークカット 裏イボ

この試合も予想以上に接戦の連続でした。ほとんど異質型で、さすが普通科で中国大会に出場するチームだと思いました。1番は1ゲームに10-6から6連続失点で逆転負けしてしまい、これが大きかったです。イボ高の選手で自分から打ってこない選手だったので、積極的に自分から攻める展開が多かった。得点できる時はよいですが、やはりミスがまだまだ多く攻撃の確率をどれだけあげていけるかが今後の大きな課題です。特に終盤になった時のミスで失点を重ねているので、技術

をあげいくしかありません。

2番もイボ高の選手で、こちらも守備的な戦型のため我慢の勝負でした。2ゲームを連取されて厳しい展開になり3ゲームも終盤までリードされていましたがデュースでとってから4・5ゲーム目を連取して逆転勝ちしました。高田さんは中国大会初勝利になりました。最近の県の大会でも調子が悪くあまり良い結果がでていなかったなので、これをきっかけに復調することを祈ります。

3番は、裏裏の選手でしたが攻撃をあまりしてこないサーブの変化が大きい選手でした。かなりやりにくそうにしていました。また、前日とは違いあまり調子がよくなく我慢の試合でした。2ゲームを接戦でおとした後、3・4ゲームを連取して最終ゲームも10-8で勝っていましたが、そこからミスが続きデュースでまけてしまいました。

4番は、サーブの上手なカットマンでした。前半はお互いのサーブで得点して2-2の最終ゲームになり、終始リードされる展開で粘りましたが負けてしまいました。サーブの後の3球目攻撃がほとんどできず、ラリー戦になるとカットマン有利であり、粘り負けという感じです。試合後に中元先生からも、スマッシュなど攻撃をもっとした方がよいとアドバイスもいただきました。苦手なカットマンは岡山県には少ないですが、しっかり練習してほしいと思います。

5番は相手のエースで、さらに強いカットマンでした。スマッシュなど得点を重ねましたが、相手のミスが少なく2ゲーム連取されたところで終わりました。

正直、力の差はほとんどなく接戦時の1点の重みを感じる試合でした。このチームのように異質型の選手が多い女子は普段からきちんと自分から攻める展開をつくるのが重要だと感じました。

最後に、敗者同士でお隣の総社高校と対戦しました。6月に対戦することもあり、詳細は控えておきます。結果は2-3で負けました。次回こそリベンジしてBEST4に入ることができよう頑張っていきたいと思います。



